介護・福祉事業者の皆さま、行政機関の皆さまへ

犬や猫と暮らす高齢の方と、そのご家族へ

福祉・介護・動物・地域がつながる

支援の輪

訪問先で、犬や猫の暮らしに気がかりなことはありませんか。

ご本人やご家族の思いを伺いながら、
支援者の皆さまと一緒に、対応を考えます。

相談（無料）　秘密厳守　個別対応

こんなときは、ご相談ください

ヘルパー・訪問看護師の方から
訪問先で猫が排せつ物に囲まれて暮らしており、
飼い主さんも片付けに困っている。

ケアマネジャー・相談支援員の方から
急な入院や施設入居が決まったものの、
犬や猫を預けられる先が見つからない。

行政・介護・福祉の方から
飼い主さんが急に亡くなり、残された犬や猫の
お世話をする人が見つからない。

犬や猫と暮らす高齢の方のご家族から
離れて暮らす親が、これからもペットの
お世話を続けられるか心配。

支援に迷うときは、お声がけください。
当初の相談対象地域は岡崎市を予定しています。

ライオン動物保護シェルター

私たちについて

人と動物の福祉をつなぐNPOです。

よりそう

犬・猫の暮らしに関するご相談

当初の相談対象地域は岡崎市を予定しています。

入院時の預け先、介護、ペット信託・後見、
保護猫の迎え入れなどが相談の例です。
イベントブースや、市役所などの支援機関からの
ご紹介を中心に、お話を伺います。

寄付で応援する

飼い主さんやご家族の相談を無料でお受けできるよう、
皆さまのお力をお貸しください。
ご寄付は、動物の治療費やフード代にも役立ちます。

ニュースレター会員（準備中）

保護猫の様子や地域での活動をお伝えする予定です。

ボランティア・プロボノとして

猫のお世話やイベントのお手伝い、社会福祉士・
ケアマネジャーなどの経験を生かした相談対応、
IT・ウェブ、広報・PR、連携先開拓など。

現地でも、オンラインでも参加できます。

公式サイト｜相談・寄付・参加

lion-shelter.jp

Instagram｜活動の様子

@lion_animal_shelter

特定非営利活動法人 ライオン動物保護シェルター
〒444-2121 愛知県岡崎市鴨田町字池内93番地5
理事長　呉 俊熙（獣医師）
院長直通　080-9482-6565　対応時間 9:00〜17:00
メール　contact@lion-shelter.jp

ペット信託・終生飼養には検討中の内容を含みます。
対応内容・受入条件・費用は個別に確認します。

愛知県岡崎市から、支え合う地域へ。

人も、動物も。ともに幸せに暮らせるまちへ。

犬や猫と、
ともに暮らす人を支える。

ライオン動物保護シェルター
LION ANIMAL SHELTER

NPO法人 ライオン動物保護シェルター

LION ANIMAL SHELTER
https://lion-shelter.jp/

私たちの想い｜相談から始まる支援

まずは、お話を。
人と動物の暮らしを、
一緒に考える。

愛知県岡崎市の
NPO法人ライオン動物保護シェルターです。
相談を通じて、人と動物の福祉をひとつに
つなぐ活動を目指しています。

高齢、入院、介護、生活困窮、孤立化、
生活環境の変化などで、動物との暮らしに
不安や困りごとが生じたとき。

地域猫、多頭飼育崩壊、飼い主のいない犬・猫の
交通事故・けが・病気の治療、保護など。

ひとりで抱え込まなくて大丈夫です。
今、気がかりなことからお話しください。

飼い続けるための方法や、必要に応じた
保護・医療・生活ケア、新しい家族への
橋渡しなど。その方と動物に合った選択肢を
一緒に考え、必要な支援へつなぎます。

現在、こうした活動の準備を進めています。

岡崎モデル

地域全体が連携

みんなで一緒に解決策を探します。

相談のきっかけ

イベントブースでの出会いや、
関係機関からのご紹介を中心に、
飼い主さんやご家族のお話を伺います。

地域の人・機関・活動

- 行政 市役所など
- 地域包括支援センターなど
- 介護・福祉事業者
- 生活に困窮する方
- 高齢者世帯
- 地域の方
- フードドライブ

ライオン動物保護シェルター
相談を受け止め、必要な支援へつなぐ

協力する人・団体

- 保護ボランティア — 犬猫の保護・一時預かり
- 専門家・プロボノ — 専門知識や技術で協力
- 市民・里親 — 活動への参加・迎え入れ
- 地域の企業 — 協賛・仕事での連携
- 動物病院・獣医師 — 治療や健康管理で協力
- 大学・研究者 — 現場と研究をつなぐ

支援の例

一時預かり / 里親募集 / 治療 / 一時保護 / 引取り / 健康管理 / 訪問・見回り / 宅食

背景の分析

様々な問題が生じる社会的背景

暮らしの中にある困りごと

介護疲れ	育児疲れ	家庭の不和
離別・死別	人間関係の悩み	8050問題
失業	就労の難しさ	長時間労働
借金	生活の困窮	子どもの貧困
加齢に伴う変化	認知機能の低下	体の不調
こころの不調	依存	ひきこもり

暮らしの変化をきっかけに、困りごとが重なり、
さまざまな問題が表面化することがあります。

表面化する問題の例

孤立死	虐待・DV	住まいの喪失
過労死	ごみの堆積	自殺など

多頭飼育問題も、その一つです。

参考：環境省『人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン』（2021年3月）16頁、図6。
佐藤尚治氏（長野県社会福祉協議会）の資料を環境省が一部改変した図をもとに、当法人がパンフレット用に再構成。

地域へのフィードバック

相談した方や支援に関わった人と振り返り、
役立った工夫を地域で共有します。
次の相談や支援の進め方に生かします。

人と動物の福祉をつなぐ、岡崎モデルの構想図です。